

養鶏農協だより

— 岡山県養鶏農業協同組合 —

種鶏舎建設資金・種鶏育成資金等経営拡大資金の融資について

生産する鶏卵は種卵としてこの組合へ出荷し、飼料はこの組合製造の種鶏用配合飼料を使用する等、養鶏関係では地元農協を利用することがほとんどない養鶏農協の組合員は、近代化資金その他地元農協を窓口とする農林低利資金を利用することが極めて困難でした。従って、採卵養鶏に比して種鶏養鶏は、その経営規模拡大が一步遅れているのが現状です。この現状を打破し、組合員が種鶏経営規模拡大によって合理的な経営ができ得ることを目的として、農林中央金庫当局のご理解により、左の通り経営拡大資金の融資をあっせんすることに決定しました。ぜひご利用下さい。

一、融資の対象

1、種鶏舎及び附属設備

種鶏 1 千羽以上飼養の平面鶏舎で、設計、資材購入、建設等は自由です。鶏舎内外の設備、自動給餌器等も融資対象になります。融資基準は、種鶏 1 羽当たり 1,100 円（坪当たり 1,200 円程度）以内としますが、自動給餌器等特殊施設設置に要する資金は、これより別に、同時に融資されます。

2、種雛育成費

種雛代金及びその育成費が対象となります。融資基準は、1 羽当たり 700 円以内とします。

二、融資の条件

1、金融機関と資金

農林中央金庫岡山支所プロパー資金。

2、融資の限度

上述融資基準以内の 100% 融資とします。貸付金の最高限度は定めません。

3、貸付利息

年 9%（日歩 2 銭・47）、但し、農林中金支所より中央へ引下げを交渉中です（8・5%程度）。

4、償還条件

2 年据置、5 年、半年賦

5、担保

融資対象物件及び宅地、山林、田畑等の不動産。

6、保証

岡山県養鶏農業協同組合

三、組合の担当する業務

申請事項、設計及び建設計画、資材購入等に協力指導し、飼育種鶏の選択、建設後の管理及び経営にも協力します。

飼料

単体飼料の値下げ、換金投げ、船舶運賃低下等の情報が相次いで、一時は配合飼料にも値下げムードがただよっていましたが、3 月下旬に至ってそのムードは解消されそうになりました。その主な原因は次の通り伝えられています。

1、主原料である玉蜀黍事情

現在国内在庫のものは高値のものであるばかりでなく、供給過剰を予想されている 4、5 月も、6 月到着のものも高値買付ものであること。

一時期供給過剰予想で安くなってからの買付けが極めて少量で、かえって 7 月ごろから不足になるのではないかと予想されること。

港湾倉庫事情等もあって安値買付けを見送っている間に、海外市況が再び高値に転じたこと。

輸入穀物の港湾倉庫への入庫は政府輸入穀物優先になっているので、昨年に比して政府輸入食糧が大幅に増した今年には倉庫不足が著しいことと、公定金利引上げや輸入担保率引上げ等金融引締めの影響等から、政府輸入食糧が著増する 4 月には換金投げがあるのではないかとされているが、そうなればその後一時的にでも供給不足となって価格が急騰する

岡山畜産便り 1964.04

おそれがあること。

単体及び2種混合の低落が一段落し、原料として採算価格になったばかりであるのに反発気配があること。

2、原料価格に影響の大きい

船舶運賃事情

一時停頓していたと伝えられたソ連、東欧諸国向の小麦をはじめとする農産物輸送がかなりあり、ガルフ～西インド諸島向がトン7ドル20セントから約30セント上昇し、またイタリヤ向も上昇していること。これらの影響で3月初めにはガルフ～日本間が8ドル30セントから8ドルに下がっていたのが、8ドル70セントから最近では9ドル20セントにまでなっていること。(註) ガルフポートは米国ミシシッピ州パール川河口にあり、玉蜀黍積出港として著名。